



令和8年度当初予算 令和7年度2月補正予算 の概要

令和8年2月
福岡県

令和8年度当初予算編成の考え方

チャレンジと安心！ 豊かな未来へ「翔」け上がる福岡県

■ 人を育て、すべての人の活躍を応援する

■ 産業を育て、県経済を強くする

■ 人を惹きつける元気なまちをつくる

■ 健全な環境と、安全・安心なくらしを守る

一般会計歳入歳出規模

16か月予算 2兆4,132億円

過去最大

当初予算

2兆3,000億円

2月補正予算

822億円

2月定例会提案額

2兆3,822億円

12月補正予算（既決）

310億円

県税収入 8,308億円
(過去最大)

※令和8年度当初予算は、国の経済対策を最大限活用した令和7年度12月補正予算及び令和7年度2月補正予算と合わせた16か月予算として一体的に編成

財政改革プランの目標達成状況

	目 標 (8 年 度 末)	8 年 度 未 見 遣
県債残高 (普通会計ベース)	○ やむを得ない要因(※)を除いた令和8年度末の通常債残高を 令和3年度末よりも500億円程度圧縮	令和3年度末に比べ 603億円の減
財政調整基金等三基金残高 (財源調整分)	○ 令和8年度末の財政調整基金等三基金残高を400億円～500億円確保	714億円

※ やむを得ない要因：災害復旧・復興対策、国の防災・減災、国土強靭化への対応、国の補正予算対応、減収補填債発行、コロナ感染症対策

一般会計予算のフレーム

区分	16か月予算										比較		(参考) 当初比較
	令和6年度 12月補正予算 (経済対策)	令和6年度 2月補正予算 (経済対策)	令和7年度 当初予算	計 D (A+B+C)	令和7年度 12月補正予算 (経済対策)	令和7年度 2月補正予算 (経済対策)	令和8年度 当初予算	計 H (E+F+G)	増減	伸率			
	A	B	C		E	F	G	H	H-D	H/D			
歳出	人件費			3,979	3,979		1	4,291	4,292	313	107.9	312	107.8
	社会保障費			4,047	4,047			4,193	4,193	146	103.6	146	103.6
	公債費			2,524	2,524			2,600	2,600	76	103.0	76	103.0
	公共事業費		598	1,129	1,728		536	1,103	1,639	▲ 88	94.8	▲ 26	97.7
	単独事業費		6	864	870	7	11	963	980	110	112.6	98	111.5
	直轄事業負担金		55	140	195		59	158	216	21	110.8	18	112.9
	合 計		660	2,134	2,793	7	605	2,224	2,836	43	101.5	90	104.2
	災害復旧費			148	148			103	103	▲ 44	69.6	▲ 44	69.6
	行政施策費	91	229	4,147	4,467	303	213	4,296	4,811	344	107.7	148	103.6
	市町村交付金等			4,651	4,651			5,030	5,030	379	108.1	379	108.1
歳入	その他		3	249	252		3	263	266	14	105.6	14	105.6
	合 計	91	891	21,878	22,860	310	822	23,000	24,132	1,272	105.6	1,122	105.1
	県税等			10,690	10,690			11,294	11,294	604	105.6	604	105.6
	地方譲与税等			1,176	1,176			1,448	1,448	272	123.1	272	123.1
	地方交付税		11	3,071	3,082		15	3,143	3,158	76	102.5	72	102.3
歳入	国庫支出金	91	553	2,029	2,673	310	513	2,172	2,994	321	112.0	142	107.0
	県債		317	1,540	1,856		280	1,687	1,968	111	106.0	148	109.5
	収支均衡のための基金繰入金				0				0	0	-	0	-
	文化芸術振興基金設置のための基金繰入金				0			48	48	48	皆増	48	皆増
	地方交付税精算等のための基金繰入金※2			305	305			253	253	▲ 52	83.0	▲ 52	83.0
	その他		11	3,066	3,077		14	2,955	2,969	▲ 108	96.5	▲ 111	96.4
	合 計	91	891	21,878	22,860	310	822	23,000	24,132	1,272	105.6	1,122	105.1

※1 表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある。

※2 地方交付税精算：令和8年度の普通交付税の算定における精算分（減額分）への充当のために取り崩すもの

(単位：億円、%)

歳出 <16か月予算の概況>

◆人件費 +313億円(+7.9%)

- ・給与費 +198億円（給与改定等）
- ・退職手当 +115億円（段階的な定年引上げ等）

◆社会保障費 +146億円(+3.6%)

- ・障がい福祉関係費 +52億円（福祉サービスへの認知の広まり）
- ・医療費・介護給付費 +47億円（高齢化の進行等）

◆公共事業費 +43億円(+1.5%)

- ・施設建設 +121億円（新県立美術館、県立高校空調等）
- ・災害関連 ▲78億円（R5梅雨前線豪雨災害等）

◆行政施策費 +344億円(+7.7%)

- ・子育て世帯への現金給付 +87億円
- ・学校給食費の抜本的な保護者負担軽減 +153億円
- ・私立高校等における教育無償化 +101億円

歳入 <16か月予算の概況>

◆県税等 +604億円(+5.6%)

- ・個人県民税 +81億円（給与所得の増加等）
- ・法人二税 +106億円（企業業績の堅調な推移）
- ・地方消費税 +344億円（民間消費の拡大）

◆国庫支出金 +321億円(+12.0%)

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 +219億円
- ・給食費負担軽減交付金 +76億円

◆県債 +111億円(+6.0%)

- ・県有施設の整備費の増等

◆収支均衡のための基金繰入金 なし

◆文化芸術振興基金設置のための基金繰入金 48億円

◆地方交付税精算等のための基金繰入金 253億円



主な新規事業 目次

人を育て、すべての人の活躍を応援する

「出会い」を創出し、「結婚」、「妊娠・出産」を応援	04
「子育て」を応援	05
「こども」の健やかな成長を応援	06
「こども・若者」のチャレンジを応援	09
「ジェンダー平等」の推進と「女性」の活躍を応援	10
年齢や障がいの有無、国籍を問わず「すべての人」の活躍を応援	11
社会を支える「担い手」を育成	12

産業を育て、県経済を強くする

県経済の原動力「中小企業」の成長を支援	13
自動車産業サプライチェーンの強靭化	16
成長の起爆剤「スタートアップ」を育成	16
経済と環境の好循環「グリーン成長プロジェクト」を推進	17
世界で勝負できる「先端技術産業」の創出を加速	18
生産力を強化し、「強い農林水産業」を実現	19
消費・販売を拡大し、「稼げる農林水産業」を実現	22
食の王国・福岡の魅力を高め、「観光産業」を振興	23
経済成長を支える「産業人材」を育成	25
発展の基盤となる「インフラ」を整備	26

人を惹きつける元気なまちをつくる

「住みつけたい、住んでみたいまち」をつくる	28
「文化芸術」の力で、人とまちを元気にする	32
「スポーツ」の力で、人とまちを元気にする	34
県民の「健康」づくりを推進	36

健全な環境と、安全・安心なくらしを守る

「環境」を守り、未来につなぐ	37
「ワンヘルス」の取組をみんなで推進	40
地域と連携し、質の高い「医療・介護・福祉」を提供	41
「困難を抱える人」を支援	43
「防災・減災」対策を強化	44
犯罪や事故を防ぎ、「生活の安全」を守る	47



人を育て、すべての人の活躍を応援する

「出会い」を創出し、「結婚」、「妊娠・出産」を応援

「私のライフプラン」を応援 1,128万円（「私のライフプラン」応援費）

- ・高校生、大学生、社会人それぞれの年代に応じた将来の「結婚・妊娠・出産」、「仕事・子育て」に関する知識を啓発するショート動画を制作・配信し、若い世代のライフプラン作りを応援

プレコンセプションケアを促進 492万円（プレコンセプションケア促進費）

- ・専門医による対面相談、予期せぬ妊娠に悩む若年者等の妊娠判定費用を助成し、妊娠・出産・性感染症等に不安を抱える若年層を支援

卵子凍結による妊よう性※温存等に関する課題を検証 [2月補正] 1億217万円

（卵子凍結による妊孕性温存等課題検証費）

- ・卵子凍結及び凍結卵子を用いた生殖補助医療の費用を助成し、早期に妊娠する力が低下する可能性がある人を支援
- ・卵子凍結等に関する正しい知識を啓発するための動画を制作・配信

※妊よう性：妊娠するための力

遠距離を通院する産婦等を支援 476万円（妊産婦等のための遠距離通院支援費）

- ・産婦健診や先進医療を含む不妊治療等のため、受診に概ね60分以上の移動時間を要する産婦等の交通費を支援

「子育て」を応援

「物価高対応福岡県子育て応援金」を給付 [2月補正] 86億9,511万円 (物価高対応福岡県子育て応援金)

- ・ 子育て世帯にこども1人あたり1万円を給付

よかパパ料理・育児セミナーを開催 3,010万円 (よかパパ料理・育児セミナー開催費)

- ・ 育休取得予定の男性を対象とした料理教室や家事・育児の役割分担の大切さを伝えるセミナーを実施

ベビーシッター利用を支援 1,157万円 (子育て支援ベビーシッター利用促進費)

- ・ 冠婚葬祭や通院等で一時的に生後6か月未満の乳児の保育を必要とする子育て世帯に、ベビーシッター利用料を助成

こどもの入院に付き添う家族を支援 [2月補正] 2,598万円 (こども入院付添い家族支援費)

- ・ 医療機関に家族が利用できるベッドや休憩スペースの整備等の費用を助成し、こどもの入院に付き添う家族の環境を改善



「こども」の健やかな成長を応援

■ 子どもの学びを充実

県立高校「Fukuoka Ignite Canpass ※～学びの心に火をつける～(仮称)」を構築 1,038万円

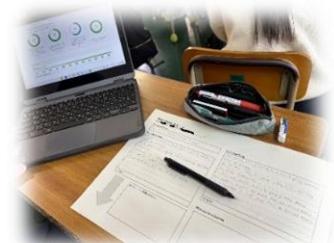
(県立高校 Fukuoka Ignite Canpass 構築費)

- 在籍校にとらわれず、学校の枠を越えて高い指導力を持つ教員の講座をオンデマンドで視聴できる動画サイトを構築

※ ignite (点火する) canpass (can (できる) + pass (合格する)) を campus (キャンパス・学舎) とかけた造語

AIと創る「書く」「話す」英語学習モデルを構築 1,844万円 (AIと創る「書く」「話す」英語学習モデル構築費)

- 生成AIアプリを導入し、英語のスピーキング力・ライティング力の向上を図る
学習モデルを構築



<生成AIによる英語学習>

質の高い教科指導のための小学校専科教員を配置 3億3,176万円

(質の高い教科指導のための小学校専科教員配置費)

- 小学校4～6学年の体育の授業における安全性と質の向上を図るとともに、クラス担任の負担軽減を図るため、専科教員（体育）を県独自で配置

スクールロイヤーによる学校サポート 769万円 (スクールロイヤーによる学校サポート費)

- 学校だけでは解決困難な事案に対処するため、弁護士（スクールロイヤー）を配置し、学校を支援

産業イノベーション人材育成のための高校教育改革を推進 3,333万円 (高等学校等教育改革促進費)

- 改革を先導する拠点校における取組を準備するため、コーディネーターを配置
- 教育委員会事務局の体制を整備し、高校教育改革実行計画を策定

生徒の健康を守る！県立高校にエアコンを整備 22億8,639万円 [2月補正] 4億1,825万円

(生徒の健康を守る県立高校エアコン整備費)

- 生徒の健康を守り、災害時における避難所環境の改善を図るため、体育館等へのエアコン設置のための設計及び工事を実施

【整備計画】

	総整備費	整 備 数						完了時期
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	
体育館	213億円	95校	25校	34校	36校			R10
特別教室 食堂・厨房	160億円	1,663室	0室*	44室	111室	713室	650室	R13
計	373億円							

*特別教室、食堂・厨房については、設計を実施

体育館には、風や音が少ないことで競技の妨げにならず、必要な空間のみの室温調整が可能で省エネ性能にも優れた輻射パネル併用方式を採用



<輻射パネル × パッケージエアコン>

学校給食費の抜本的な保護者負担軽減を実施 152億8,916万円 (学校給食負担軽減費)

- 公立の小学校段階の学校給食の食材費を支援 (723校分)

福岡の食材を学校給食に！食育・地産地消を推進 6,293万円

(福岡の食材を学校給食に！食育・地産地消推進費)

- 県産農林水産物の利用拡大を図るため、デジタル技術を活用した調達システムを開発
- 生産者団体や企業との協働による体験型食育プログラムの開発や県産食材の生産現場を紹介する動画コンテンツを作成し、学校における食育を推進



食べて学ぼう！県産ブランド農林水産物を提供 [2月補正] 3億7,244万円

<博多和牛を使った給食>

(食べて学ぼう！県産ブランドを活用した食育推進費)

- 学校給食において、博多和牛や福岡有明のりなど本県自慢のブランド農林水産物を提供

食堂を利用する県立学校の生徒を支援 [2月補正] 2億280万円 (県立学校食堂生徒支援費)

- ・ エネルギー価格高騰に伴う生徒の食事代と業者の負担軽減を図るため、食堂の冷蔵庫や食器洗浄機などを省エネ性能の高い機器に更新

■ 支援が必要なこどもに寄り添う

生徒の命を守る「心の健康」教育を推進 1,622万円 (生徒の命を守る「心の健康」教育推進費)

- ・ 県立学校における生徒の自殺予防の充実を図るため、全生徒を対象とした「心の健康教室」や新入生を対象としたロールプレイを取り入れた演習型授業を年度当初に実施
- ・ 心の健康に関する知識や生徒のSOSに気づき対応するスキルの定着を図る教職員研修を実施

早期アプローチにより不登校児童生徒を支援 5,191万円 (早期アプローチによる不登校児童生徒支援費)

- ・ 支援が必要な児童を早期に見出すため、小学校において福岡県立大学が開発した長期欠席予測シートを活用し、学習支援や教育相談を行う不登校児童支援員の配置支援を拡充
- ・ 不登校児童生徒支援員の資質を向上させるための研修を実施

不登校児童の学びと心を支える支援従事者をサポート 2,070万円

(こどもの学びと心を支える不登校総合サポート強化費)

- ・ 福岡県立大学の知見やノウハウを活用し、市町村教育支援センターに対する伴走支援や学校関係者に対する早期対応・スキルアップ支援を実施
- ・ 不登校児童生徒に相談指導を行うフリースクールスタッフ等に対する相談・研修支援を実施

高等専修学校における学びの継続を支援 1,352万円 (高等専修学校における学びの継続支援費)

- ・ 高等専修学校に対し、発達障がい・不登校生徒等をサポートする専任教職員やスクールカウンセラーの配置を支援

日本語指導が必要な児童生徒への支援体制を整備 1,252万円

(日本語指導が必要な児童生徒への支援体制整備費)

- ・ 小中学校への支援員の配置や学習支援アプリの導入等の支援、アドバイザーの派遣により学習指導や相談対応を充実
- ・ 日本語指導担当教員の指導力を向上させるための研修を実施

「こども・若者」のチャレンジを応援

未来子どもチャレンジ応援プロジェクトを推進 3,963万円 (高校生∞(無限大)チャレンジ費)

- ・ 高校生が地域固有の課題・ニーズに挑戦する「ローカル イノベーターズ チャレンジ」、ソーシャルビジネスの起業を目指す「アントレプレナーズ チャレンジ」を応援
- ・ 地域や社会で活躍できる若者を育成する「キャリア デザイン コミュニティ」を開設

「福岡から世界へ」人材育成プロジェクトを推進 6,546万円 (『福岡から世界へ』人材育成プロジェクト費)

- ・ 産学官が連携し、社会課題や持続可能な地域づくりへの取組意欲が高い高校生が自ら作成したプログラムによる海外留学を支援

フードビジネス分野におけるハワイ州との交流により国際人材を育成 998万円

(ハワイ州とのフードビジネス分野における人材育成交流費)

- ・ フードビジネスを学ぶ学生がハワイ州の学生と合同で商品の開発・販売に挑戦

「ジェンダー平等」の推進と「女性」の活躍を応援

「あすばる」みらいジェンダープロジェクトを推進 747万円

(「あすばる」みらいジェンダープロジェクト費)

- ・ 大学生がジェンダー平等について意見交換し、その成果を同世代の若者や社会に向けて発信するワークショップを開催
- ・ ジェンダーに関する悩みを抱える男性に対し、オンライン面談やセミナーを実施



<ワークショップの様子>

私らしく働く！女性のキャリアを応援 8,170万円 (私らしく働く！女性のキャリア応援費)

- ・ 働く女性の交流の場「福岡キャリア・カフェ」を、育児中などの女性もオンラインで参加できるようハイブリッド型で開催
- ・ 学生の就職に関する意識を調査し、ロールモデルや人事担当者と交流・意見交換する企業見本市「福岡ジョブ・コレクション」を開催
- ・ 「女性のキャリア応援センター（仮称）」を開設し、働きたい女性や働く女性をワンストップで支援

セクハラ・詐欺から守る！女性起業家を応援 170万円 (セクハラ・詐欺から守る！女性起業家応援費)

- ・ 女性起業家を狙ったセクハラや詐欺の実態調査、関係者とともに対応策を考えるオープンセッションを実施

起業で輝く女性を支援 1,397万円 (起業で輝く女性支援費)

- ・ 「Bloom福岡」において、起業を目指す女性のステージに応じたセミナーや伴走支援を実施

女性の活躍を支援するため生理休暇の取得を促進 2,086万円 (女性活躍支援生理休暇取得促進費)

- ・ 生理休暇が当たり前に取得できる社会を目指し、中小企業の経営者や人事労務担当者を対象とした啓発セミナーや県民向け啓発イベントを開催

女性警察官が活躍できる職場環境を整備 6,406万円 (女性警察官が活躍できる職場環境整備費)

- ・ 警察施設に女性専用トイレ、仮眠室、シャワーを整備

女性消防団員が活躍できる環境整備を支援 250万円 (女性消防団員加入促進費)

- ・ 消防団拠点施設に女性専用更衣室やトイレ整備を行う市町村の取組を支援

年齢や障がいの有無、国籍を問わず「すべての人」の活躍を応援

就職氷河期世代の就職支援を強化 727万円 (就職氷河期世代就職支援強化費)

- ・ 製造や販売など未経験の職種への理解を促進し、就職につなげるための有償インターンシップを実施

生涯現役で活躍したい高齢者の新たな職場体験を実施 857万円 (生涯現役新たな職場体験費)

- ・ 高齢者がこれまでのキャリアで経験のない警備や介護などの職種への職場見学会を実施

障がいのある人が働きやすい職場づくりを支援 3,249万円 (障がい者が働きやすい職場改善費)

- ・ 障がいのある人が活躍する職場見学ツアーと受入環境の改善を助言するアドバイザー派遣を一体的に実施し、職場定着に課題を抱える企業を支援

外国人との共生社会の形成に向けた相互理解を促進 859万円 (外国人との相互理解促進費)

- ・ 日本語が全く分からぬ外国人向けの日本語教室の開設を支援し、地域住民との交流を推進
- ・ 留学生など新規入国者向けに、日本の生活マナーや交通ルール等を理解してもらうオリエンテーションを開催

FUKUOKA IS OPENセンターを核に在住外国人からの相談対応能力を強化 1,099万円

(FUKUOKA IS OPENセンター運営費)

- ・ センター相談員のスキルアップや市町村職員の対応力向上のための研修会を開催
- ・ 在住外国人からの相談件数の増加に対応するため、センター相談員を1名増員

社会を支える「担い手」を育成

キャリアに応じた看護職員を確保・養成 2,543万円 (看護師等確保・養成費)

- ・「あなたの未来がきっと見つかる」看護の就職フェアの開催、「安心と自信を育む」新人看護職員教育体制の構築
- ・「また働きたいを支援！！」復職支援研修の充実、「多様な働き方をあなたに」プラチナナース※の就業継続を支援

※プラチナナース：55歳以上の看護職員

介護サービス事業所における外国人介護人材の受入・定着を支援 1,697万円 [2月補正] 1,283万円

(外国人介護人材の受入・定着支援費)

- ・就労希望の特定技能候補者と事業所のマッチング、外国人材を指導する職員向けの研修会等を実施
- ・携帯型翻訳機や多言語対応の介護記録ソフト等の導入を支援

介護福祉士養成施設におけるDX教育を充実 [2月補正] 2,000万円 (介護福祉士養成施設教育充実費)

- ・DXが進む介護現場の実情に即した介護人材を養成するため、介護福祉士養成施設に介護ソフトなどのICT機器を導入

未経験分野への就職にチャレンジする若者を応援 5,093万円 (若者の未経験分野への就職チャレンジ応援費)

- ・ものづくりやITなどの未経験分野への就職を希望する若者に、合同企業説明会によるマッチングから就職後のOff-JTまで一貫して支援

地域限定保育士試験の実施による保育人材の確保 1,772万円 (地域限定保育士試験費)

- ・実技講習会の受講により保育士資格の取得に必要な実技試験が免除される地域限定保育士試験を実施

協働クリエーションプログラム「Biz × Social Bridge」を推進 470万円

(協働クリエーションプログラム『Biz × Social Bridge』事業費)

- ・企業の社会貢献活動を促進するため、活動手法を検討するためのワークショップやNPO等の活動現場を訪問するフィールドツアー、協働パートナーとなるNPO等とのマッチングを実施



産業を育て、県経済を強くする

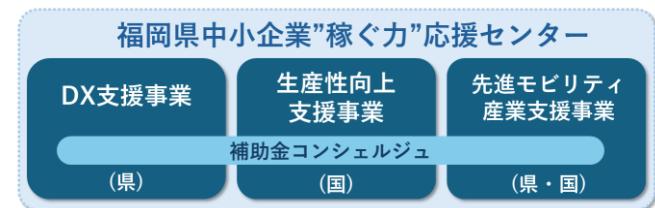
県経済の原動力「中小企業」の成長を支援

■中小企業の稼ぐ力を高め、持続的な賃上げを実現

「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター(仮称)」を設置 1億5,154万円 (中小企業稼ぐ力強化支援費)

- ・ 中小企業のDX、生産性向上、先進モビリティの開発・生産について、
国の機関と一体的な支援を実施

【センター体制図】



中小企業の成長投資による賃上げを応援 3億6,733万円

(中小企業成長投資・賃上げ応援費)

- ・ 賃上げに取り組む中小企業の製品開発・設備導入補助に係る補助率を嵩上げ
補助率：30円以上60円未満の賃上げを行う場合 2/3
60円以上の賃上げを行う場合 3/4

対象補助金：半導体後工程関連製品開発補助、宇宙ビジネス製品・サービス開発補助など 全33種

「DX・生産性向上支援資金」を創設 融資枠300億円 (中小企業振興資金融資費)

- ・ 中小企業のDX・生産性向上を促進するため、中小企業制度融資において保証料補てんを実施

[保証料]

- ①福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター（仮称）の支援を受けDX等に取り組む企業に対し、県が1／2補てん
(0.45～1.90% → 0.225～0.95%)
- ②生産性向上に取り組む中小企業に対し、県が一部補てん (0.45～1.90% → 0.45～1.62%)

ものづくり中小企業の技術高度化による収益力向上を支援 [2月補正] 5億5,519万円

(技術高度化による中小企業収益力強化費)

- ・ 工業技術センターの各研究所に先端ものづくり設備を導入し、中小企業の製品開発を強力に支援

研究所名	導入設備
機械電子研究所	半導体製造装置や自動車向け金属材料の高機能化のため加工装置、分析装置
化学繊維研究所	リサイクル材料（樹脂や繊維）の高機能化のための分析装置、試作装置
インテリア研究所	建築材料の難燃性能向上のための分析装置
生物食品研究所	食品の機能性付与、機能性向上のための分析装置

小規模事業者の賃上げに向けた稼ぐ力を強化 [2月補正] 2億4,194万円

(小規模事業者の賃上げに向けた稼ぐ力強化支援費)

- ・ 新商品開発や販路開拓の取組を支援し、小規模事業者の持続的な賃上げを促進

中小企業の販路開拓を支援 4,846万円 (中小企業販路開拓強化費)

- ・ 首都圏等で開催される中小企業向け大規模展示会への出展回数・企業数の拡大により、販路開拓を強化

持続的な賃上げに向けた中小企業の価格転嫁を支援 880万円 (中小企業価格転嫁円滑化・賃上げ支援費)

- ・ 価格交渉や価格転嫁に関する相談を受け付ける「価格転嫁相談窓口（仮称）」を設置

<12月補正計上事業>

- 業務のDX等により生産性を向上させ、賃上げに取り組む中小企業を支援 8億4,107万円
- 経営革新計画により売上を向上させ、賃上げに取り組む中小企業を支援 3億9,131万円

■ 中小企業の持続的な成長を実現

経営改善サポートデスクを開設 6,491万円 (中小企業経営改善支援体制強化費)

- ・ 早期の経営改善に取り組む中小企業への支援体制を強化するため、新たに経営改善サポートデスクを開設
- ・ 専門家派遣による販路拡大や新商品開発の支援を強化

「経営改善促進特別融資」を創設 融資枠400億円（中小企業振興資金融資費）

- ・物価高等により厳しい状況にある中小企業の経営改善を支援するため、R 8年度に限り保証料を低減した特別融資を創設
[保証料] 0.45～1.75% → 0.15～1.17%

中小企業の支援情報アプリを開発 3,082万円（中小企業支援情報アプリ開発費）

- ・中小企業の課題に適した支援情報をAI検索機能により簡単に調べられるアプリを開発

中小企業の事業継続力を強化 3,741万円（中小企業事業継続力強化支援費）

- ・災害や感染症などの経営リスクに備えた実効力の高い計画策定・更新のため、専門家による伴走支援を実施

円滑な事業承継を支援 3,026万円（事業承継に向けた中小企業収益力強化費）

- ・事業承継計画を策定した中小企業が取り組む販路開拓やデジタル技術導入等を支援

■中小企業を支える人材の確保・育成を支援

奨学金返還支援による中小企業の人材確保を支援 5,047万円（奨学金返還助成による中小企業人材確保支援費）

- ・若手人材の確保のため、奨学金の代理返還等を行う中小企業への助成を実施

小規模事業者の人材確保の取組を支援 2,100万円（小規模事業者人材確保支援費）

- ・商工会議所・商工会が行う事業者の職場紹介動画の作成や会社見学会の開催を支援

商店街のがんばる若手経営者を育成 577万円（がんばる商店街若手人材育成支援費）

- ・市町村・商工団体と連携し、若手経営者グループによる地域の商店街振興に向けた活動を支援

インド高度技術人材の確保に向けた調査を実施 597万円（インド高度人材活用調査費）

- ・中小企業の人材確保のため、高度技術人材が豊富なインドにおいて、政府機関、大学とのネットワーク構築等に向けた現地調査を実施

■中小企業の資金繰りを支援

<継続事業>

中小企業の円滑な資金繰りを支援 総融資枠8,001億円（うち新規融資枠3,285億円）

自動車産業サプライチェーンの強靭化

日産自動車の生産移管等を契機として集中的にサプライチェーンを強靭化 5億5,071万円

（自動車サプライチェーン強靭化費）

- ・サプライヤーの設備導入や技術開発を支援
- ・地元企業に関する情報提供体制強化や現地視察会を実施
- ・生産移管企業向けの個別相談会等によりサプライヤーの戦略的な誘致を実施



<日産自動車九州>

成長の起爆剤「スタートアップ」を育成

NEXTユニコーンの創出を推進 8,108万円（NEXTユニコーン創出推進費）

- ・大きな成長が見込まれるディープテック企業を選定し、事業戦略の磨き上げや、海外VCとのネットワーキング等を集中支援する「福岡県NEXTユニコーン育成（スパーク）プログラム」を実施
- ・バイオスタートアップの海外からの資金調達のため、専門家による伴走支援を実施
- ・スタートアップの革新的な新商品・サービスの認定制度を創設し、県がトライアル導入することで、民間への販路拡大を支援

アツギ・サッシンベンチャーの創出・育成を強化 7,842万円 (アツギ・サッシンベンチャー創出育成費)

- ・新規事業のアイデアを具体化するアツギ・サッシンベースを経て、新商品・サービス開発にチャレンジするアツギ・サッシンジャンプの支援対象社数を50社に倍増
- ・アツギ・サッシンのPRイベント「アツギ・サッシンフェス」の開催や、新商品を展示・販売する「アツギ・サッシンストア」の出展を実施

経済と環境の好循環 「グリーン成長プロジェクト」を推進

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州各県との連携プロジェクトを推進 1,862万円

(新生シリコンアイランド九州推進費)

- ・台湾の大型展示会への九州パビリオン出展や台湾半導体企業を招へいした九州合同商談会開催により、地元企業の取引拡大を推進

「AIデバイス※」の開発から販路拡大まで強力に支援 4,886万円 (AIデバイス開発・取引拡大推進費)

- ・県内AIデバイス関連企業の新製品開発を支援
- ・日本最大のデジタル技術展示会「CEATEC」に出展し、新製品のPRやビジネスマッチングを実施

※インターネットを介さず自律的に認識・判断・行動するAIを組み込んだ電子機器（AIカメラ、AI自動収穫ロボットなど）

水素グリーン成長戦略を推進 2億2,269万円 (水素グリーン成長戦略推進費)

- ・ディーゼルエンジンからコンバージョン※した水素エンジントラックの導入を支援
- ・九州大学、久留米高専と連携し、中高生を対象とした水素分野の人材育成プログラムを実施

※ベースとなる車両に加える付加価値のある改造



<水素エンジントラック>

世界で勝負できる「先端技術産業」の創出を加速

世界とつながるバイオスタートアップエコシステム「Fukuoka Bio Open Gateway」を形成

1億7,172万円（「Fukuoka Bio Open Gateway」形成推進費）

- ・ ファーマテック分野：AI・デジタル技術を活用した医薬品等の研究開発の加速化を支援
- ・ フードテック分野：九州大学のAI技術、生物食品研究所の食品開発の知見を活用し、機能性表示食品の届出期間を短縮
- ・ ヘルステック分野：久留米大学「スリープラボ」と連携した睡眠関連商品の開発を支援

宇宙ビジネスを振興 4,055万円（宇宙ビジネス振興費）

- ・ 宇宙ビジネス支援拠点「Fukuoka Space Business Acceleration Lounge（仮称）※」を設置し、新規参入やビジネス拡大をJAXA等と連携し強力に推進 ※略称F★SBAL（Fスバル）
- ・ 2027年に本県で開催されるアジア・太平洋地域宇宙機関会議の機運醸成を図るため、プレイベントの開催等を実施
- ・ 福岡県の名物・特産品を活用した「宇宙福岡食」やSAR衛星※データを利用した防災・インフラ管理システムの開発を支援 ※レーダーを使用して、昼夜天候を問わず観測できる衛星

「メディカルクロス福岡」プロジェクトを推進 2,229万円（メディカルクロス福岡プロジェクト推進費）

- ・ 医療福祉機器ネットワークに参画している企業・病院等と連携し、新たに医療福祉機器分野に参入する県内ものづくり企業の製品開発の伴走支援、販路拡大のための大手メーカーへの出張技術提案会を実施
- ・ 革新的な医療機器の開発に向け、薬事規制に関する専門家による相談対応等の支援体制を構築

福岡発ロボット医療機器による遠隔手術実現プロジェクトを推進 5,600万円

（福岡発ロボット医療機器による遠隔手術実現プロジェクト費）

- ・ ふるさと福岡県応援基金※を活用し、手術支援ロボットを遠隔で使用するためのソフトウェア開発や実証を支援

※P29参照

生産力を強化し、「強い農林水産業」を実現

■ 農林水産業の生産構造の転換

未来の農業をつくる構造転換緊急プロジェクトを推進 1億1,235万円

(未来の農業をつくる構造転換緊急プロジェクト費)

- ・ 地域における農地の将来像を示す地域計画のブラッシュアップや、農地の集約化に必要な機械の導入等を支援

未来の農業を支える担い手確保を強化 1億8,123万円 (未来の農業を支える担い手確保強化費)

- ・ 農業法人の人材確保に向け、農業高校生とのマッチングを実施
- ・ 企業の農業参入に関する相談に対応できるよう、ワンストップ相談窓口を設置

先端技術の導入により県産農産物等の生産を振興 2,427万円 [2月補正] 2億3,492万円

(先端技術による新品種等開発費・AIを活用した「はかた地どり」改良施設整備費)

- ・ AI技術を活用した「はかた地どり」の肉質向上に向け、農林業総合試験場における原種鶏の育成・選抜のための鶏舎を整備
- ・ 旨味が強く、消費者ニーズに合った「博多えのき」の新品種となる有望系統を選抜
- ・ 木材の生産性向上のため、伐採することなく立木のままで高精度な強度測定ができる機器を開発



農業に挑戦！新規就農者の機械等導入を支援 [2月補正] 2,693万円

(農業に挑戦！新規就農者機械等導入支援費)

- ・ 65歳未満の新規就農者が就農開始に必要なトラクターや病害虫防除機等の導入を支援

<はかた地どり>

「ふくおか未来型園芸農業創出コンソーシアム」による農業研究開発力の強化 462万円

(ふくおか未来型園芸農業創出コンソーシアムによる研究強化費)

- 農業の生産性の向上と環境負荷の低減を実現するため、企業や大学、国の研究機関等と連携し、園芸農業における先進技術の開発・普及を進めるコンソーシアムを組成



<カノコソウ>

■ 農林水産業の競争力強化

中山間地域の新たな収入源を確保 1,082万円 (中山間地域の新たな収入源確保対策費)

- カノコソウなど薬用作物の化粧品分野等への活用に向け、大学と連携した需要調査や栽培技術指導を実施

<継続事業>

園芸農業の競争力を強化 14億5,350万円 [2月補正] 32億2,132万円

- 園芸産地の育成、雇用型経営導入等に必要な施設・機械の導入を支援
- 施設を利用する農業者の負担軽減を図るため、国の補助率を嵩上げし、施設の高機能化・統合を推進

水田農業の競争力を強化 1億4,495万円 [2月補正] 36億5,143万円

- 農作業集約化及び生産規模拡大に取り組む担い手が行う機械の導入を支援
- 施設を利用する農業者の負担軽減を図るため、国の補助率を嵩上げし、施設の高機能化・統合を推進
- 麦類の国産化を推進するため、県産麦類産地の生産性向上に必要な費用を助成

畜産業の競争力を強化 [2月補正] 7億673万円

- 生産効率の改善を図る畜産農家に対し、畜舎等の整備を支援

林業の生産力を強化 [2月補正] 4億1,961万円

- 県産木材の供給力強化を図る高性能林業機械等の整備を推進
- 生産性向上に取り組むきのこ生産者に対し、生産に必要な資材の導入を支援

<12月補正計上事業>

- 地域を牽引する、企業的な大規模あまおう農家を育成 4億860万円
- 欧米への輸出拡大に向けたオーガニック八女茶の生産を推進 3,174万円
- スマート農業機械の導入を推進 7億7,304万円
- 県産木材の供給力強化を図る高性能林業機械等の整備を推進 1億1,211万円
- G I を取得した県産酒の振興に向け、酒米生産を支援 9,709万円

■気候変動に対応した生産の展開

暑さに負けない！農業における夏期の高温対策を強化 9,038万円 [2月補正] 1億5,949万円

(暑さに負けない！園芸対策強化費 他2事項)

【園芸農業】

- ・ ハウス内の温度を下げるミスト冷房や天窓換気装置などの施設・機械の導入を支援
- ・ 異常な高温による果樹の日焼け等を低減する技術開発や花きの安定出荷を可能とする加湿・冷蔵技術の実証

【水田農業】

- ・ 暑さに強い県産米「元氣つくし」や「実りつくし」の種子を確保するため、専用乾燥機の導入を支援
- ・ 高温条件下に対応した水稻・大豆の高収量・高品質生産技術を開発

【畜産業】

- ・ 暑さによる家畜のストレスを軽減するため、スポットクーラーや大型送風機などの設備・機械の導入を支援
- ・ 遺伝的能力評価を活用した暑熱耐性の高い乳用牛の導入や精液の利用を支援

気候変動をノリ越える！「福岡有明のり」の生産を強化 2,404万円

(気候変動をノリ越える！「福岡有明のり」生産強化費)

- ・ 「福岡有明のり」の生産強化に向け、海況が良い年に生産した良質な種網を冷凍保管し、越年して利用できる技術を開発



福岡有明のり
Fukuoka Ariake Nori

消費・販売を拡大し、「稼げる農林水産業」を実現

県産農林水産物の海外の新たな販路を開拓 3,116万円（県産農林水産物の輸出多様化推進費）

- ・活水産物の輸出が解禁されたベトナム向けにマダイとカキの試験輸出を実施
- ・アルコール飲料の輸出先として有望な台湾で、県産酒のプロモーションを実施

ブランド県産畜産物の輸出拡大を支援 [2月補正] 2億6,667万円（ブランド県産畜産物輸出拡大支援費）

- ・県内で初めて米国・EU向け輸出に対応した新食肉センターの整備を助成



もっと福岡の酒を飲もう！「GI福岡」プロモーションを強化 [2月補正] 4,012万円

（もっと福岡の酒を飲もう！「GI福岡」プロモーション強化費）

- ・G I※認定を受けた県産酒の販売拡大に向け、県産酒ナビゲーターの育成や公式ウェブサイトの多言語化を実施

※G I：ブランド価値の保護のため、産地名の使用に基準を設ける制度。
認定にあたり、地元の原材料を使うことが重要視される

農産物直売所の機能高度化を支援 [2月補正] 1億494万円（農産物直売所機能高度化支援費）

- ・農産物の搬入効率向上のためのスロープの設置や、鮮度の高い商品を提供できる急速冷凍機等の導入を支援

木を活かす街づくりを推進 2,365万円（木を活かす街づくり推進費）

- ・オフィスビルなど非住宅分野での木造設計を支援
- ・若手設計者の育成を図るため、木造建築デザインコンペを開催

产地で実感！ふくおかの地魚の魅力を発信 690万円（产地で実感！ふくおかの地魚魅力発信費）

- ・「ふくおかの地魚応援の店」の来店者に県産水産物の魅力をPRするため、応援の店の料理人を対象とした产地ツアーを開催

食の王国・福岡の魅力を高め、「観光産業」を振興

「食の王国・福岡」を体験！ガストロノミーツーリズムを推進 6,371万円

(「食の王国・福岡」ガストロノミーツーリズム推進費)

- ・ 食と自然・歴史文化を楽しむガストロノミーツーリズムを推進するため、国内外の観光客に魅力的なメニューを開発
- ・ アンテナレストランやクリスマスアドベントを活用し、首都圏における福岡プロモーションを実施



<アンテナレストランのメニュー>

フィッシングツーリズムを推進 1,806万円 (フィッシングツーリズム推進費)

- ・ 釣り体験、食事、観光、宿泊を一体化したオールインワン・フィッシングツアーを、釣り初心者から中級者、富裕層といったターゲットごとに造成

ユニバーサルツーリズムを推進 4,324万円 (ユニバーサルツーリズム推進費)

- ・ 県公式観光サイトを活用し、ユニバーサルツーリズムに対応している観光施設やモデルコースの情報を発信
- ・ 誰もが安心して旅行を楽しめるよう観光施設の段差解消や案内設備の充実などユニバーサルデザイン化のための設備整備を支援

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の魅力・価値を発信 1,348万円

(世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の魅力増進・価値発信費)

- ・ 国内外からの誘客促進のため、事業者に対するシェアサイクルの導入支援、本遺産群の無形の価値を伝えるVR動画等の制作、全国通訳案内士に対するツアー造成研修を実施



<VR動画の制作イメージ>

伝統工芸産地のオープンファクトリー化を推進 2,538万円（伝統工芸産地オープンファクトリー推進費）

- ・ 小石原焼産地における年間を通じた工房見学・製作体験の体制づくりを支援
- ・ 久留米絣産地のオープンファクトリー情報を国内外に発信



＜匠ギャラリー＞

来て！見て！触れて！福岡の伝統工芸の魅力を発信 923万円

（「来て！見て！触れて！」福岡の伝統工芸魅力アップ費）

- ・ 福岡の伝統工芸を体験できる特設ブースを首都圏等の百貨店に出展
- ・ 産地と連携し、伝統工芸品の情報発信や新商品開発等に取り組む学生団体を支援

「トラディショナルクラフト@匠ギャラリー」伝統工芸の魅力を発信 2,395万円

（トラディショナルクラフト@匠ギャラリー費）

- ・ インバウンドに向けた魅力発信のため、匠ギャラリーにおいて伝統文化、伝統工芸の体験型企画展を開催

国内外の旅行者向け宿泊促進キャンペーンを実施 6億7,494万円（県内送客促進事業費）

- ・ 海外OTAを活用し、訪日客向けに宿泊代金の一部を助成
- ・ 閑散期の平日に観光客を呼び込む「ふくおか平日おトク旅観光キャンペーン」を実施

県内周遊バスツアー「よかバス」による県内各地への周遊促進 3,606万円（県内送客促進事業費）

- ・ 訪日客の県内周遊を促進するため、料金の一部を助成
- ・ 更なる利用促進を図るため、「よかバス」の魅力発信を強化

欧米豪・中東からの誘客を強化 2,649万円（インバウンド高付加価値旅行推進費）

- ・ フランス、アメリカ、中東等からの旅行者の嗜好に合わせた高付加価値な旅行商品を造成するとともに、現地旅行会社へのセールスや航空会社と連携したプロモーションを実施

経済成長を支える「産業人材」を育成

半導体人材の育成を強力に推進 2,851万円 (福岡半導体高度人材育成拠点形成費)

- ・ 福岡半導体リスクリングセンターにおいて、学生向けに半導体の全製造工程見学会やエンジニアとの交流会を実施



「技専校って何？」魅力発信プロジェクトを実施 2,518万円

(「技専校って何？」魅力発信プロジェクト費)

- ・ 高等技術専門校への関心を高めるため P R 動画制作や見学バスツアーを実施
- ・ G X ・ D X に対応した最先端技術訓練を導入

<技専校における太陽光パネル設置訓練>

県内成長産業を支える人材育成・マッチングを推進 1,865万円 (情報・先端技術教育充実費)

- ・ 私立高校生を対象とした情報・先端技術関連企業や大学等の見学会、企業等による出前授業、エンジニア派遣による実習指導を実施

技術系中小企業の次代を支える人材の育成・確保を支援 5,205万円 (技術系企業人材育成・確保支援費)

- ・ 企業の人材確保や技術力発信のため、技術系企業のオープンファクトリー化を推進
- ・ キッザニア福岡と連携した教育プログラム「テクノロジー人材創生塾2026」を実施

未来の建設業の担い手を育成 3,473万円 (未来の建設業担い手育成費)

- ・ キッザニア福岡において、業界団体と連携し、建設業のやりがいを楽しく体験することも向けプログラムを実施

洋上風力発電の運転・維持管理技術者の育成を支援 750万円

(洋上風力発電運転・維持管理技術者育成支援費)

- ・ 高所作業や重量物取扱いなど風力発電特有の運転・維持管理のための専門認証取得を支援

発展の基盤となる「インフラ」を整備

戦略的道路整備に向けた交通ビッグデータ※分析を本格化 4,984万円

(戦略的道路整備に向けた交通ビッグデータ分析費)

- ・ 効率的な物流や企業誘致のための道路整備（Fukuoka スムーズコネクト）に向け、交通ビッグデータを分析

※交通ビッグデータ：物流車両の大量の走行データ

開港20周年を迎える北九州空港のさらなる利用を促進 8億8,203万円

(北九州空港貨物輸送ネットワーク構築費・北九州空港旅客路線再生事業費)

- ・ 滑走路延長を見据え、将来的に欧米貨物便の就航を目指す航空会社を支援
- ・ 新規貨物路線就航や貨物取扱量の増加を見据え、貨物受入体制の強化を支援
- ・ 国際旅客路線の安定運航を図るため、基幹路線の定期便を運航する航空会社を支援



「建設インフラ業務まるごとDX」を推進 2億1,144万円 (建設インフラまるごとDX推進費)

- ・ 行政及び中小企業の業務をDX化することで、作業時間の短縮など労働環境改善を図り、建設業界の生産性や魅力向上
- ・ 担い手の確保に向け、高校生・大学生等を対象としたDX体験会や就職マッチング会を実施

<継続事業>

企業誘致の受け皿となる工業用地を整備 33億3,069万円

- ・ 苅田港新松山地区において工業用地造成事業（第3期）を実施（第3期分譲予定時期：令和8年度以降、分譲予定面積：約26ha）
- ・ 新たな土地造成を戦略的に進めるため、苅田港の港湾計画の改訂を実施
- ・ うきは西部工業用地造成のための用地取得、工事等を実施（分譲予定時期：令和12年4月～、分譲予定面積：23.6ha）

福岡市・北九州市へのアクセス向上を図る道路網を整備 94億1,053万円 [2月補正] 36億8,025万円

- ・ 福岡市、北九州市周辺の基幹的道路の整備（筑紫野古賀線、国道322号香春大任バイパス（ほか））
- ・ 福岡、北九州高速道路の整備（福岡都市高速3号線（空港線）延伸、北九州都市高速5号線（戸畠～牧山）の整備（ほか））

産業振興や地域振興の基盤となる基幹的道路網を整備 85億5,252万円 [2月補正] 39億4,275万円

- ・ 産業団地等とインターチェンジ、港湾とのアクセス向上を図る道路の整備（久留米筑紫野線（ほか））
- ・ 広域的な地域振興を促進する道路の整備（国道442号黒木バイパス、国道443号柳川バイパス（ほか））

下関北九州道路の早期整備に向けた調査を実施 259万円

- ・ 整備効果検証を行うため、周辺道路への交通影響を調査

地域の活力を支える港湾を整備 27億5,631万円 [2月補正] 10億6,630万円

- ・ 港内船舶の航行安全確保のための航路の整備等を実施（苅田港、三池港（ほか））



人を惹きつける元気なまちをつくる

「住みつけたい、住んでみたいまち」をつくる

■人を呼び込み、「魅力あるまち」をつくる

住みたい！鉄道沿線まちづくりを推進 874万円（住みたい！鉄道沿線まちづくり推進費）

- ・嘉飯・粕屋・遠賀の3圏域において、駅周辺に保育所や交流広場等の生活に必要な機能を誘導する「鉄道沿線まちづくり」を推進

空き家再生による子育て世帯の住宅取得を応援 3,175万円（空き家再生子育て応援費）

- ・市町村、買取再販事業者と連携して空き家を再生し、若年・子育て世帯の住宅取得を応援して定住につなげるモデル事業を実施

「2027年国際園芸博覧会」に県独自の庭園を出展 1億165万円（国際園芸博覧会出展費）

- ・花あふれる美しいまちづくり、造園・花きなどの地域産業の振興や本県への誘客に向け、「未来へつながるワンヘルス」「福岡県の魅力」をキーワードにした庭園を出展

花あふれる県立学校プロジェクトを推進 1,337万円（花あふれる県立学校プロジェクト費）

- ・校門や昇降口など生徒や来校者の目に触れる場所に「一人一花」ロゴマークを挿した花壇やプランターを整備し、ワンヘルス教育を推進

筑豊緑地にスポーツクライミング施設を整備 2億9,000万円（県営公園スポーツ施設整備費）

- ・オリンピック種目で競われたスポーツクライミング「ボルダリング」「リード」「スピード」の三種類を備えた県内唯一の施設整備に向け、造成工事を実施

新潟県との連携を推進 810万円 (新潟県連携推進費)

- ・ 食・酒・ものづくり・世界遺産などの両県共通の強みを活かした地域間交流を促進するため、
「新潟県・福岡県連携会議 in 福岡」や新潟県と連携した食に関する観光情報発信を実施



地域伝統行事お助け隊の登録促進による地域内外の交流を推進 294万円

(助けタイ(隊)！福岡の地域伝統行事支援費)

- ・ 地域の企業、大学・高校、自衛隊への働きかけやボランティア証明書の発行により、
お助け隊員数を拡大

<地域伝統行事お助け隊>

移住・定住を促進 1,510万円 (福岡県移住・定住促進費)

- ・ SNS等を活用し、県内市町村の魅力を発信する移住・定住プロモーションを実施
- ・ 東京都内の大学等の学生が県内企業に就職する際の交通費・移転費用への支援を拡大

「ふるさと福岡県応援基金」を設置 1億円 (ふるさと福岡県応援基金設置費)

- ・ 「ふるさとのために貢献したい」という気持ちにいつでも応えられるよう、ふるさと納税を
積み立てるための基金を設置

<継続事業>

安全で快適な道路を整備 135億7,595万円 [2月補正] 18億6,208万円

- ・ 通学路の歩道整備や交差点の改良工事等を実施
- ・ 市街地における道路の拡幅やバイパス整備を実施

■「地域公共交通」を活性化

交通空白地域を解消 9,586万円 (交通空白解消集中対策費)

- データに基づく広域的な地域交通網の最適化や、交通の結節点となる広域モビリティハブの構築、コミュニティバス等の車両位置情報提供システムの導入など、交通空白地域の解消に取り組む市町村を支援

地域公共交通の担い手の確保・職場定着を支援 2,562万円 (地域公共交通運転手確保対策費)

- 乗合バス・タクシー事業者に対し、人材確保や人材定着ノウハウ向上のためアドバイザーを派遣
- 3大都市圏から福岡県内に移住し、乗合バス事業者や地域鉄道事業者に就職する運転手に奨励金を支給

乗合バス・タクシー事業者のエコタイヤ導入を支援 [2月補正] 3億3,200万円

(バス・タクシーエコタイヤ導入支援費)

- 物価高により厳しい状況にある乗合バス・タクシー事業者に対し、燃費性能が高いエコタイヤの導入を支援

<継続事業>

地域鉄道の安全、安定的な運行継続を支援 3億775万円

- 地域鉄道事業者が行う車両更新、安全輸送設備の整備を支援

■福岡の「へそ」嘉飯圏域を振興

嘉飯圏域の魅力を発信 521万円 (嘉飯圏域魅力発信費)

- 福岡都市圏や首都圏内の飲食店と連携し、食や観光などの嘉飯圏域の魅力を発信する
「ふくおかの『へそ』魅力体験フェア」を実施

ITスタートアップ創出拠点「e-ZUKA TECH GUILD(仮称)」を設置 2,459万円 (e-ZUKA TECH GUILD事業費)

- 起業を目指す学生・研究者を支援するため、企業・学生・研究者が集い、IT技術を活用して企業が抱える課題にチャレンジする拠点を飯塚研究開発センターに設置
- 起業に意欲のある学生・研究者向けのビジネスプランコンテストを開催

■隣接県と連携し、「県境地域」を振興

豊築・有明地域を振興 1,495万円 (県境地域振興推進費)

- ・福岡都市圏において県境地域の認知度向上プロモーションを実施
- ・熊本県、大分県と連携し、所縁のある立花宗茂などの地域資源を活かした県境地域の魅力発信を実施

「豊築こどもオープンファクトリー」を開催 745万円 (豊築こどもオープンファクトリー費)

- ・地域ならではの職業体験、ダイハツや田辺ファーマなどの工場見学ができるこども向け仕事体験イベントを開催

■市町村の政策立案力向上やDXを推進

市町村の未来デザインを応援 710万円 (市町村の未来デザイン応援費・市町村ミクロデータ活用支援費)

- ・市町村が抱える課題の解決のため、県職員も参加するグループワークや専門家による助言を実施
- ・グループワークに参加した市町村による政策発表会を実施
- ・市町村職員向けのミクロデータ※シンポジウムやデータ利活用研修を実施

※少子化対策や人口偏在対策に有用な、地域ごとの年齢・職業・学歴等の詳細な集計・分析を行える国勢調査等の集計前の個票式データ

市町村のDXを支援 214万円 (市町村DX伴走支援費)

- ・市町村窓口のフロントヤード改革などのデジタル化に対し、県職員が伴走支援

■県庁の生産性向上

県庁のオフィス改革を加速 5億4,055万円 (オフィス改革推進費)

- ・ペーパーレス化・組織の垣根を越えた横断的な政策立案を推進するため、事務室のフリーアドレス化などのオフィス改革の取組を加速



<レイアウト変更後のオフィス>

「文化芸術」の力で、人とまちを元気にする

「福岡県文化芸術振興基金」を設置 48億4,136万円 (文化芸術振興基金設置費)

- ・ 心豊かで活力のある元気な「ふるさと福岡」の実現に向け、約50億円の新たな基金を設置
- ・ 世界水準の芸術の誘致や人材育成など、県単独で中長期的に取り組む必要のある施策に活用

新県立美術館の建設に着工 65億2,270万円 (新福岡県立美術館建設費)

「福岡県アーツカウンシル(仮称)」設立に向けた準備 5,527万円 (福岡県アーツカウンシル(仮称)設立準備費)

- ・ 文化芸術活動の担い手を育成・支援する組織の設立準備や、将来の文化芸術を担う若手芸術家の活動に対する支援を実施

人とまちを元気にするまごころアートの普及を促進 1,153万円 (人とまちを元気にするまごころアート普及促進費)

- ・ 障がいのある人が制作したまごころアートをART FAIR ASIA FUKUOKA へ出展・販売、コンビニとタイアップした商品販売、新県立美術館の工事仮囲いに活用
- ・ 九州産業大学と連携した「まごころアート ひらめき宣伝部@九産大」において、まごころアートを活用した商品開発や県民の認知度向上のためのPRを実施



<ART FAIR ASIA FUKUOKA での展示>

大濠公園能楽堂40周年プロジェクトを実施 8,444万円

(大濠公園能楽堂40周年プロジェクト費)

- ・ 大濠公園能楽堂において、若手能楽師による40周年記念公演を開催
- ・ 大濠公園全体を使って伝統芸能の魅力を発信する「WAKUWAKUトラッドフェスタ」を開催
- ・ 大濠公園能楽堂のカフ工開設に向け、実施設計及び改修工事を実施



<大濠公園能楽堂>

伝統芸能の魅力を発信 142万円 (九博に舞う伝統芸能発信費)

- ・ 九州国立博物館において、特別展の開催に合わせた能楽や豊前神楽などの伝統芸能の公演を開催

舞台芸術の鑑賞・体験機会を充実 2,085万円

(舞台芸術鑑賞・体験機会充実費)

- ・ 日本を代表するバレエ団である東京バレエ団の公演や体験型ワークショップをアクロス福岡で開催

「『西の都』大宰府」の魅力を発信 101万円 (『西の都』大宰府未来創造費)

- ・ 関係市町と連携し、大宰府史跡の調査研究、次代の人材育成や地域交流の促進のための研修会を開催

「スポーツ」の力で、人とまちを元気にする

世界で活躍するアスリートの育成体制を整備 1億7,323万円

(世界で活躍するアスリート育成体制整備費)

- ・ 海外選手の招聘・育成、海外選手との交流による県内アスリートの強化・育成を図るため、国内最高峰のインターナショナルトレーニングセンター開設に向けて、アクション福岡改修の基本計画の策定、基本・実施設計を実施



<アクション福岡>

「福岡×オセアニア～ワールドクラスアスリート育成プロジェクト～」を推進 2,511万円

(福岡×オセアニア-ワールドクラスアスリート育成プロジェクト費)

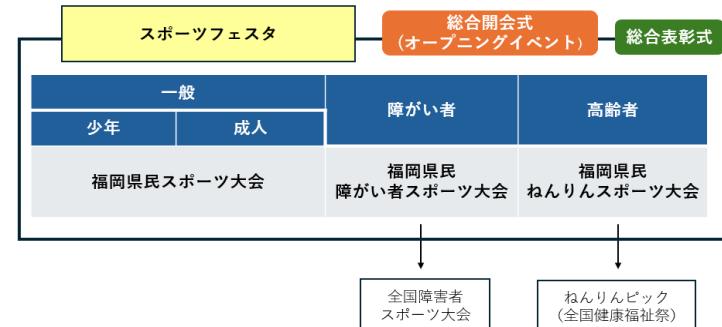
- ・ オセアニアオリンピック委員会等と連携し、海外アスリート受入に向けた協議会の設置や、オーストラリアやフィジーと水泳・ラグビーなどの競技で相互派遣による強化合宿を実施

インクルーシブなスポーツの祭典を開催 2,690万円

(スポーツフェスタ開催費)

- ・ 県民スポーツ大会、県民障がい者スポーツ大会、県民ねんりんスポーツ大会を一体化したスポーツフェスタのオープニングイベントを開催
- ・ 県民スポーツ大会の参加年齢を中学生年代に拡大

【大会構成図】



「アジア男子バレー ボール選手権大会 福岡2026」を開催 1,728万円

(アジア男子バレー ボール選手権大会開催費)

- ・スポーツへの関心を高め、バレー ボールのファンと競技者を増やすため、大会に小学生を無料で招待
 - ・中学校・高校において、県内トップアスリートによる出張バレー ボール教室を開催
 - ・国内外からの来場者等に本県の農林水産物、観光地、ワンヘルスの取組をPR
- ※大会開催に係る県負担金（4億円）は福岡県スポーツ推進基金から拠出



<出張バレー ボール教室>

「ツール・ド・九州2026」を開催 2億6,447万円 (ツール・ド・九州開催事業費)

- ・福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎を舞台とした国際自転車競技連合認定の国際サイクルロードレースを開催（福岡県は佐賀県と共同開催）



<ツール・ド・九州2025の様子>

「2028年世界卓球選手権団体戦」開催に向けた準備 436万円

(2028年世界卓球選手権団体戦開催準備費)

- ・直前大会である2026年ロンドン大会の現地調査を実施

中学校の部活動改革を推進 3億4,638万円 (福岡県部活動改革推進費)

- ・市町村が行う地域クラブ活動推進のためのコーディネーターの配置や指導者の人材バンクの設置などを支援
- ・休日に加え、平日の部活動の地域展開に向け、平日放課後の地域クラブ活動の移動手段の確保や民間活力の活用による持続可能な運営モデルの構築を実証



ジュニアスポーツのボトムアップを推進 1,259万円 (ジュニアスポーツボトムアップ推進費)

- ・アイスホッケー やセーリングなど中学校の部活動で採用が少なく、ジュニア世代の参加が少ない競技の体験会や育成合宿を実施

県民の「健康」づくりを推進

血圧測定の習慣化を推進 3,675万円 (血圧測定習慣化推進費)

- 市町村や企業と連携し、生活習慣改善のための継続的な血圧測定の必要性を普及

「TRY ! スマソる？」を推進 3,144万円 (スマソル推進費)

- 減塩レシピのコンテストや試食会、レシピのSNS発信により普及を拡大



九州大学の久山町研究を活かした生活習慣病予防を推進 4,400万円

(久山町研究を活かした生活習慣病予防推進費)

- ふるさと福岡県応援基金を活用し、生活習慣病予防のための企業向け研修動画の作成や県民向け公開講座等を実施

認知機能低下の早期発見・早期予防を推進 806万円 (認知機能低下の早期発見・早期予防推進費)

- VRや視線追跡技術など新たな技術を活用したスクリーニング検査や、運動と栄養指導などを組み合わせた新たな知見による予防プログラムに取り組む市町村を支援
- 県民向けの講演会や啓発動画等の制作により、認知機能低下の早期発見・早期予防の重要性を啓発



健全な環境と、安全・安心なくらしを守る

「環境」を守り、未来につなぐ

■生活の中のツナグ活動を後押し

きれいいで豊かな博多湾の海づくりを推進 2,802万円 (博多湾きれいいで豊かな海づくり推進費)

- ・水生生物に必要なリン濃度の調査・分析を実施し、環境基準に係る水域類型の見直しを検討

道路・河川・海岸のボランティア団体の活動を支援 8,530万円 (道路・河川・海岸愛護団体活動支援費)

- ・担い手の確保を行うため、PR動画等を作成し配信
- ・愛護活動を活性化するため、交流イベントの開催や清掃等の作業負担軽減に向けた更なる支援を実施

犬猫のいのちをつなぐ活動を支援 462万円 (犬猫のいのちをつなぐ活動支援費)

- ・犬猫の致死処分ゼロを維持するため、動物愛護団体の収容能力拡大への支援や
一時預かりボランティアの養成を実施



<動物愛護センターで譲渡を待つ猫たち>

■感染症の流行や環境悪化を防ぐ

動物保健衛生所の開設に向けた体制を整備 1,280万円 (動物保健衛生所体制整備費)

- ・動物の感染症情報を大学・国研究機関と共有するためのシステムを整備
- ・ワンヘルスの理念に基づく感染症対策啓発イベントを動物園で開催



<動物保健衛生所完成イメージ>

AIを活用した不法投棄の監視パトロールを実施 419万円（産業廃棄物監視指導強化費）

- ・ 動画からAIが不法投棄された廃棄物を感知するシステムを開発
- ・ 山林や河川敷など不法投棄多発地点を通行する協力企業や市町村の車両に撮影用端末を設置し、不法投棄の監視パトロールを実施

<継続事業>

保健環境研究所の建築工事を実施 79億5,531万円

- ・ 老朽化した保健環境研究所を太宰府市からみやま市に移転改築し、ワンヘルスセンターの中核施設として整備

動物保健衛生所の建築工事を実施 23億4,611万円

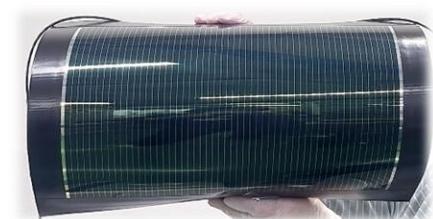
- ・ 老朽化した筑後家畜保健衛生所を筑後市からみやま市に移転改築し、ワンヘルスセンターの一翼を担う施設として整備

■ 脱炭素化を推進

ペロブスカイト太陽電池を率先導入 8億1,595万円

（次世代型太陽電池普及促進費・道路における次世代型太陽電池の活用に向けた試験導入費）

- ・ 導入可能性調査の対象を拡大し、県有施設への設置を加速
- ・ 道路施設に試験導入し、活用性を検証



<ペロブスカイト太陽電池>

GBNet福岡による使用済EVバッテリーの資源循環「福岡モデル」の構築を強化 5,134万円

（EVバッテリー資源循環「福岡モデル」推進費）

- ・ リユース蓄電池・リユース太陽光パネル普及のため、サブスクサービスの事業化を実証
- ・ 県内企業のリユース蓄電池市場への参入に向け、蓄電池製造業者とのマッチングを実施

地域共創による脱炭素地域づくりを推進 4,811万円 (地域共創による脱炭素地域づくり推進費)

- ・ 民間企業等と連携して脱炭素化と地域課題の一体的解決に取り組む市町村を支援するため、実現可能性調査への助成や専門家からの助言を実施

中小企業の脱炭素化とエネルギーコスト低減を緊急支援 [2月補正] 1億3,930万円

(中小企業脱炭素化緊急支援費)

- ・ 中小企業の省エネ・再エネ設備、蓄電池の導入を支援
- ・ 省エネ・再エネ設備の導入や運用改善の実践事例集を作成

ブルーカーボン※のクレジット化※を推進 2,399万円 (福岡ブルーカーボン・クレジット化推進費)

- ・ 渔業者による藻場のCO₂固定量の円滑な取引を支援するため、CO₂算定技術を実用化
- ・ 藻場保全活動の拡大に向け、ウニの効率的な除去手法を検証

※ブルーカーボン：海藻などに取り込まれた炭素

※クレジット化：CO₂吸收量を数値化し、売買取引すること。

響灘沖一般海域への洋上風力発電導入に向けた取組を推進 3,680万円 (洋上風力発電導入促進費)

- ・ 「促進区域」指定に向け、対象区域周辺における船舶実態調査や船舶・漁業関係者との合意形成のための調整を実施

「ワンヘルス」の取組をみんなで推進

みんなでやろうよ！ 身近なワンヘルスの取組への参画を推進 2,675万円

(みんなでやろうよ！ワンヘルス参画推進費)

- ・「ワンヘルス未来会議」が提案した実践活動を展開するため、行動を喚起する県民向けイベントの開催や市町村及びワンヘルス宣言事業者の取組を推進
- ・市町村やワンヘルス宣言事業者が実施する市民講座や研修会にワンヘルスマスターを派遣



ワンヘルス実践！ 多様な主体による生物多様性保全活動を応援 166万円

(ワンヘルス実践！生物多様性保全活動応援費)

- ・環境保全団体の継続的な活動を支援するための事業者の掘り起こし・マッチングを実施

「ワンヘルスの森」の魅力向上 1億5,280万円 (ワンヘルスの森魅力アップ推進費)

- ・森林医学に基づく森林浴の効能に関するエビデンス取得のための実証や、ヨガ・アロマテラピーなどを取り入れた森林浴プログラムを実施
- ・動植物などを音声やA Rで案内する全国初の「森林浴ガイドナビゲーションシステム」を開発
- ・ワンヘルスの学習機能を備えたビジターセンターをC L T※を活用して整備

※CLT : Cross Laminated Timberの略で、
木の板を繊維方向が直角になるよう重ねて接着したパネル。
厚みが確保できるため、耐熱性や耐震性に優れる。

地域と連携し、質の高い「医療・介護・福祉」を提供

DXによる医療勤務環境の改善を支援 [2月補正] 16億8,000万円 (医療勤務環境DX支援費)

- 病院の業務効率化や職場環境改善のため、電子カルテ閲覧端末やインカム等の導入を支援

医師の地域偏在対策を強化 6,440万円 [2月補正] 3,872万円 (医師偏在対策強化費)

- 医師派遣や代替医師の確保、宿直室や更衣室等の整備を支援

災害時等における介護サービスの持続的な提供を支援 [2月補正] 25億6,427万円

(介護サービス継続支援費)

- 大規模災害等へ備えるためのポータブル電源や簡易トイレなどの備品購入や利用者の移送経費を支援

就労継続支援A型事業所の経営力を向上 400万円 (A型事業所経営力向上費)

- 事業所に中小企業診断士等を派遣し経営改善計画の作成や販路開拓、商品開発などの伴走支援を実施

病気のこどもや家族を支える「こどもホスピス」の安定的な活動を支援 [2月補正] 1,714万円

(こどもホスピス活動支援費)

- 重い疾患で思うように外出ができないこどもや家族に体験活動等のサービスを提供するNPO等の「こどもホスピス」活動を支援

<継続事業>

安心して生み育てることができる医療体制を確保 [2月補正] 10億2,244万円

- ・出生数減少や少子化等の影響を受ける産科医療機関や小児医療機関等の事業継続を支援

介護・障がい福祉サービスのDXを支援 [2月補正] 11億5,920万円

- ・介護・障がい福祉サービス事業者による介護ロボットやICT機器等の導入費を助成

障がい福祉施設の整備を支援 [2月補正] 8億3,120万円

届出保育施設における保育サービスのDXを支援 [2月補正] 1,080万円

- ・届出保育施設によるICT機器等の導入費を助成

<12月補正計上事業>

○ 医療機関等に電気代・食材費の上昇分を支援 54億6,261万円

○ 医療・介護・障がい福祉分野の処遇改善、経営改善 132億2,923万円

「困難を抱える人」を支援

進学をあきらめない！生活困窮世帯のこども※の進路選択を応援 1,379万円

(「進学をあきらめない！」生活困窮世帯のこどもの未来選択応援費)

- 大学・短大・専門学校等の入学試験や模擬試験の受験料を助成

※対象者(次の両方に該当するこども)

- ①児童扶養手当受給世帯または市町村民税非課税世帯
- ②生活困窮者自立支援制度に基づく学習支援事業に登録

医療的ケア児・者とその家族の日常生活を支援 4,601万円

(医療的ケア児・者家族レスパイト支援費・医療的ケア児通学支援費)

- 医療型短期入所事業所を開設する医療機関等へ介護ベッドや吸引器等の導入費を助成
- 医療的ケア児・者の自宅等や通学、通院時に看護師を派遣し、家族の負担を軽減するレスパイトの利用時間を拡大
- 医療的ケア児に対する安全で効果的な通学支援の全県立学校への展開を目指し、看護師が同乗した介護タクシーによる通学支援を試行

地域連携により困難な問題を抱える女性の自立を促進 920万円

(困難な問題を抱える女性の地域連携による自立促進費)

- 女性の自立に必要な住まい、医療機関、雇用先などを開拓

「防災・減災」対策を強化

■ 事前防災・減災対策の推進

「まもるくん」の機能を強化 2,896万円 (まもるくん機能強化費)

- ・ 災害に備えた防災学習情報や災害時の支援情報を閲覧できる機能を追加
- ・ 防災情報を簡単に検索できるA Iチャットボット機能を追加
- ・ 防災情報を取得できるエリアを最大5エリアから県内全域へ拡大



県民への熱中症リスク情報の発信を強化 1,750万円 (熱中症リスク情報発信強化費)

- ・ 暑さ指数やクーリングシェルター等に関する情報を「まもるくん」やS NSで発信

大規模地震を想定した訓練を実施 585万円 (大規模地震訓練費)

- ・ 直下型地震を想定した図上訓練を実施

津波に対する備えを強化 59万円 (津波被害想定調査費)

- ・ 津波被害想定調査に向け、調査断層や調査項目を検討する専門委員会議を開催

市町村の災害廃棄物処理のための体制整備を支援 594万円 (災害廃棄物処理体制整備費)

- ・ 迅速な初動対応を支援するため、実践マニュアルの策定に向けたひな形の作成、研修会、専門家による相談会を実施

流域治水を推進 8,640万円 (流域治水協働推進費)

- ・ 市町村や事業者が行う、ため池やグラウンド等の雨水貯留浸透施設の整備を支援

土砂・流木による洪水リスクを調査 2,989万円 (土砂・流木リスク調査費)

- ・ 土砂、流木の影響を見込んだ洪水浸水想定区域図作成に向けた調査を実施

土砂災害ハザードマップの充実に取り組む市町村を支援 493万円 (土砂災害ハザードマップ充実市町村支援費)

- ・ 土砂災害が発生するおそれのある箇所について、市町村のハザードマップ更新を支援

上下水道の強靭化を推進 3,030万円 (上下水道強靭化推進費)

- ・ 効率的な老朽化対策を推進するための、水道事業者間の広域化や人工衛星・AIを活用した漏水調査の導入を支援、災害時に備えた上下水道デジタル地図の活用研修を実施

国民保護の実効性確保に向けた受入体制の構築 1,268万円 (国民保護実効性確保に向けた受入体制構築費)

- ・ 石垣市・宮古島市からの要配慮者の円滑な受け入れを行うための搬送計画案を作成
- ・ 国、沖縄県、九州・山口各県との共同実動・図上訓練の実施
- ・ 石垣市・宮古島市での地域イベントに福岡県ブースを出展し、両市の方々の福岡県への理解を醸成

<継続事業>

ため池等の安全対策を実施 52億9280万円 [2月補正] 46億311万円

- ・ ため池や農業用排水施設の整備等を実施
- ・ 災害に強い園芸産地づくりのため、事業継続計画（BCP）の策定経費、計画に基づく非常用電源等の整備費を助成

洪水・土砂災害対策等を推進 229億403万円 [2月補正] 198億5,820万円

- ・ 河川の護岸、砂防施設、地すべり防止対策施設等を整備
- ・ 災害の再発防止及び被害の軽減を図るため、県内全域で河川の浚渫や小規模な河道整備を実施

上下水道の強靭化を推進 6億8,520万円

- ・ 上下水道耐震化計画に基づく流域下水道施設の耐震化を実施

■災害時の緊急対応及び早期復旧

災害備蓄体制を強化 2億6,980万円 (災害備蓄強化費)

- ・最新の地震被害調査結果に基づく、想定最大避難者数の増加に対応するため、食料品や日用品を追加備蓄

災害時の入浴環境を改善 [2月補正] 1億1,858万円 (災害時入浴環境改善費)

- ・避難所での生活環境改善のため、水循環式シャワー設備・手洗い設備を導入

県災害対策本部機能を拡充 1,114万円 (災害対策本部機能拡充費)

- ・災害対策本部機能不全時の代替施設として篠栗合同庁舎を整備

警察の大規模災害対応力を強化 4億1,165万円 (大規模災害への対応力強化費)

- ・災害時の対処能力を強化するため、情報集約システムを整備するとともに、警察本部機能不全時の代替施設として篠栗合同庁舎と小倉北警察署（北九州市警察部）を整備
- ・被災者の迅速な救助や検視のための資機材を整備

震度情報ネットワークを二重化 7,340万円 (震度情報ネットワーク強化費)

- ・地震発生時でも継続的に震度情報の収集ができる安定したネットワークを構築

<継続事業>

緊急輸送道路等を整備 200億3,423万円 [2月補正] 110億3,580万円

- ・災害時の応急活動や緊急車両の通行を確保するため、緊急輸送道路の整備、道路法面の崩壊・落石対策等を実施

被災した道路や河川などの復旧を加速化 138億8,833万円 [2月補正] 2億6,040万円

- ・災害復旧と併せて行う河川の改良工事、砂防施設の整備等を実施
- ・農地・農業用施設、林道等を復旧

犯罪や事故を防ぎ、「生活の安全」を守る

トクリュウ壊滅に向けた対策を強化 9,118万円 (匿名・流動型犯罪グループ対策強化費)

- ・被疑者の早期検挙に向け、スマートフォン解析や防犯カメラ捜査を強化
- ・大麻をはじめとする違法薬物鑑定体制の強化のための機器を整備

ニセ電話詐欺等から県民を守るための対策を強化 880万円

(ニセ電話詐欺等から県民を守るための対策強化費)

- ・防犯アプリ「みまもっち」に国際電話・迷惑電話着信ブロック機能を追加

飲酒運転撲滅対策を強化 1,743万円 (飲酒運転撲滅対策強化費)

- ・飲食店の協力のもと、飲酒運転撲滅100日チャレンジ作戦（仮称）を実施
- ・検問用多言語対応電光表示板等を導入



<電光表示板イメージ>

DXによる飲酒運転の再犯防止対策を強化 683万円 (DXによる飲酒運転再犯防止対策強化費)

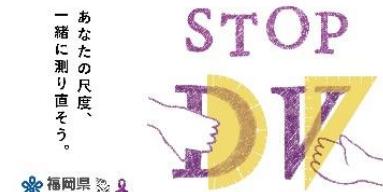
- ・違反者を迅速に適正飲酒指導や受診へつなげるため、データ管理システム及び指導予約管理システムを導入

命を守る！自転車ヘルメット着用の取組を支援 724万円 (命を守る！自転車ヘルメット着用推進費)

- ・民間事業所における自転車ヘルメット着用の取組を支援するため、ヘルメットホルダーを提供
- ・外国人や自転車事故が多い若年層に対し、日本語教育機関等への多言語ポスター配布やSNS広告により、ヘルメット非着用の危険性を啓発

「DVをやめたい方の暴力防止プログラム」を実施 422万円 (DVをやめたい方の暴力防止プログラム費)

- ・DV加害者の行動変容を促すため、カウンセリングやグループワークを実施



STOP不適切保育！ 保育所における虐待防止等を強化 1,897万円

(「STOP不適切保育！」保育所虐待防止等強化費)

- ・保育士や保育施設長を対象とした研修、虐待未然防止に向けた保育所への助言の実施
- ・虐待発生時に子どもの心のケアを行う専門人材を派遣